

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	あかるく やさしく あたたかい介護	これからも理念を心掛けながら利用者の為のサービスを提供していきます。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々朝礼、会議等で申し送り職員全員が周知されるようにしています。また、常に目のつくところへ掲示しています。	これからも職員一同理念の共有をし、日々取り組んでいます。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	天気の良い日には近隣へ散歩をしたり、買い物をしたりしています。咲顔の温かい介護を実際に見ていただいています。	地域行事がある際は利用者さんと共に参加をし、楽しんでいます。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や買い物の際にはなるべく地元で、こちらから入居者の方と共に挨拶や世間話をしたりしています。	散歩の際に顔見知りの御近所の方と声を掛け合ったりしています。入所さんの面会の為に近隣の住民が来所され、他入居の皆さんとお茶をすることもあります。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の敬老会、祭りでの御輿担ぎ等参加しています。	地域の皆さんとの活動をこれからも大切にしていきたいと思えます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の自治体の敬老会やお正月のお祝い会などの参加し民生委員さんや地域の住民と話し合いの場を作りながら地域の現状を把握し交流を深めています。</p>		<p>運営推進会議等で地域の自治会長さんや民生委員さん、住民の方々の意見を伺い要望にこたえていきたいと思ひます。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価結果を職員全員に報告。また、誰でも見れるところへ保管。 会議の際に今後の改善について話し合いました。</p>		<p>今後も評価結果を活かして職員全員で改善について話し合い取り組んでいきたいと思ひます。また、評価結果を運営推進会議や、御家族へ報告を致します。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を規定どおりに行い、積極的に意見の交換を行っています。</p>		<p>会議の際の外からの意見を積極的に取り入れていきたいと思ひます</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも市の職員が来園され自由に見学をしていただいています。</p>		<p>市役所へ出向いた際はコミュニケーション、互いに情報の提供をしサービス向上に取り組んでいます。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>県の実地する管理者研修やその他の研修に参加をさせていただきました。</p>		<p>今後これらの研修に職員全員が参加できるように勤めていきます。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修に参加をさせていただき、見過ごす事の無いように努めています。</p>		<p>今後これらの研修に職員全員が参加できるように勤めていきます。又、研修参加者から施設内研修として勉強会を開きます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前、契約時等ゆっくりと御家族等のお話を伺い説明をさせていただいています。</p>	<p>契約時以外でも、お小遣いなどの使い道、月々の請求書等御家族の納得がいくように説明をさせて頂いています。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者、御家族の意見は常に伺っています。契約書にも苦情受付について掲載しています。</p>	<p>今の所苦情はないが要望は多く頂いています。職員全員で利用者の立場に立ち受け入れていく姿勢です。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族間の連絡を蜜に取るようにしています。また月に1回新聞を発行し、御家族へ発送しています。</p>	<p>月に一度の新聞の他にも行事の際、状態変化の際、体調不良の際など何かがあった際には必ず報告をしています。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者、御家族の意見は常に伺っています。契約書にも苦情受付について掲載しています。また、直接申し出にくいご家族の為に、目安箱(ご意見箱)を設置しています。</p>	<p>今の所苦情はないが要望は多く頂いています。職員全員で利用者の立場に立ち受け入れていく姿勢です。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ケース会議での積極的な発言、意見・提案を受け付けそれらを実践しています。</p>	<p>会議以外でも常に意見・提案はスタッフから出てきます。都度、実践、対応しています。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>早番、遅番の勤務時間の変更等状況に応じた勤務体制を作っています。</p>	<p>A・Bのユニットでは実際に遅番の時間が違います。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>新しいスタッフについての説明等を行い、利用者の方々が不安を持たないようにしています。</p>	<p>新しく入職する前に何回かユニットに来ていただき馴染みの顔になるようにさせていただいています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内の勉強会はもとより施設外の研修にも積極的に参加させ職員個々のスキルアップを図っています。	これからも様々な研修に職員全員が参加できるようにしていきたいと思います。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡協議会へ加入。意見交換等の場へ出席しています。	研修等に参加の際にも他事業所との交流になるようにしていきたいです。近隣のグループホームの見学等計画中です。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	社員旅行や、忘年会、食事会等楽しんで参加できる機会を作るようにしています。業務に関する悩みは職員間で共有し、解決できるように努めています。	ストレス、悩み等を話しやすいように個別に会話を持つようにしています。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修案内を職員全員が確認出来る所へ掲示し、研修への参加を促し定期的に参加できるように。シフト等本人が安心して参加できるようにしています。	職員全員が様々な研修に参加できるようにしています。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	施設入所から、環境に慣れるまではなるべく同じ職員が出来る限り個別対応をさせていただいています。	職員全員、入居者互いに信頼関係の下サービスの提供が来ています。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	細やかな情報の提供、又在宅での介護状況等を把握し面会に来ていただいた際には必ずスタッフとゆっくりと話が出来るよう心がけています。	職員全員、御家族互いに信頼関係の下サービスの提供が来ています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	広く情報を集めようすれば利用者と御家族が良い方向へ向くか検討し、提供させていただきます。		医療、他事業所、ケアマネージャー等各方面から情報を提供し御本人、御家族と相談しながら進めています。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前に事前に面会・面接等をし、馴染みの顔になるように努めています。また、ご家族や親しい人達から情報を収集し、なるべくその人らしい生活が咲顔でもスタート出来るようにしています。		利用者同士でも友人が出来るようにコミュニケーションの橋渡しや入所にあたり不安のないよう傾聴に努めたりしています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	長い人生経験の中から色々なお話を伺い、たくさんの知恵や知識に日々触れさせていただいています。		一方的な関係ではなく、スタッフ・入居者の方がお互いに必要な関係になれるように日常の中からたくさんのお話を伺いコミュニケーションを図っていきたくと思っています。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日々の小さな喜びのエピソード等をなるべく報告させていただき御家族と共に楽しみながら利用者を支援していただくようにしています。		毎月発行をしている新聞に、行事風景だけでなく日常の写真も掲載するようにしています。利用者の毎日を御家族になるべく知っていただきたいと思っています。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御家族、利用者の互いの話を伺い時には利用者の望まれている事の橋渡し等行っています。また、施設に入所されていても家族との絆を大事にサポートしていきたくと思っています。		入所後のほうがお互いに円満な関係になれたと言って下さる御家族もいらっしゃいます。これからも、定期的な面会、施設職員とだけではなく御家族との外出など大切な方との繋がり、絆をサポートしていきます。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お墓参り等、御家族、利用者の意見を伺い意に沿うように支援させていただいています。又、定期的な面会や外泊も御家族の協力のもと実地しています。		遠方にお墓参りに行く方がいらっしゃいます。朝5時の出発に間に合うように支度をし、夜11時に帰所された後に夕飯を支度したりします。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個人個人の生活を尊重しながら、食事や外出、買い物などは一緒に行動できるように進めています。		共同で行うレクリエーションもします。全員が参加できるように目立たぬようにサポートしています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	病院に入院し、そのまま退所された方でも面会や電話でのサポートなど実地しています。		入院退所をされた方に定期的にお見舞いに行き、千羽鶴を送りました。
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人に1日の流れ、介護計画を作り、それぞれに合わせた生活が提供できるようにしています。		これまでの生活暦など情報を収集したうえで意向を伺います。職員全員が把握できるように個人ファイルへ入れています。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や御家族にこれまでの生活歴、趣味、趣向など情報の収集(アセスメント)を行い職員全員が把握できるようにしています。		入所時だけでなく面会時にも御家族から自宅に居た頃の話の伺う機会がよくあります。情報を得たときは職員全員に共有化させます。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個人記録にその日の状態等を記録し、利用者の皆さんのそれぞれの心身状態、現状等が把握できるようにしています。		個人ファイルを開けば日々の過ごし方、状態、御家族からの要望医療的留意点等が分かるようになっています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族、関係者の意見を伺い毎月の定例会議などで職員全員と話し合いながら作成しています。		御家族の要望・意見と共に現場のスタッフの意見を積極的に取り入れ作成しています。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人、家族、関係者の意見を必ず伺います。都度、変化のある場合は新しく作成をしています。		介護保険更新で無くとも、状態に変化のあった場合は計画を作成しなおしています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の小さな気づき、変化等必ず個人記録に記録しています。介護計画作成時も、個人記録等から情報を収集します。		これからも情報の共有化に努め、記録からの情報収集に留意した介護の実践、計画の見直しをしていきます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	1階のデイサービス内へ遊びに行ったりデイサービスでの慰問などグループホームの入居者も一緒になって参加しています。		マジックショーや歌謡ショーへ参加させていただく事もあります。クリスマス会などはA・B合同で広いダイルームで行います。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の自治会長や民生員さんとも連携を図ったりボランティアの要請や学生の実習の受け入れ等を行っています。		12月のクリスマス会には地元のボランティアさんに琴の演奏会をお願いしています。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入退所の場合などは、在宅のケアマネジャーより詳しい情報を頂き、連携を図りながら進めております。また、福祉用具などについても、離床センサーや、お風呂の入浴補助用具の購入など進めております。		今後在宅へ戻る利用者がいた場合などはケアマネやサービス事業者と連携を図り退所の援助もしていきたいと思えます。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今後、日常生活自立支援事業(権利擁護事業)や、成年後見制度など利用する方が出てきた場合には、ご相談をしたいと思います。		今後必要であれば協働していきます。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それぞれにかかりつけの病院が違います。馴染みのかかりつけ医の先生に会えるのを楽しみにしている方もいます。		かかりつけ医との連携を図りながらこれからも納得のいく医療を受けられるようにサポートをしていきます。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症の専門医に随時アドバイスをいただけるようになっていきます。</p>		<p>その他急変時にはメール、電話等で直接相談のやり取りもしています。</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>医療連携加算をとっている為同法人内の看護師が定期的な来園をして頂きフォローしていただいています。</p>		<p>体調に変化、不安のある際には24時間看護師、医師に連絡が出来、相談ができるようになっています。</p>
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>医療機関との連携を図りながら情報交換や早期退院になるよう努めています。</p>		<p>医療機関と連絡を密に取りながら、定期的な面会や退院の際の医師からの説明を御家族と共に伺いに行きます。</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入所前の契約説明の際に説明を必ずしています。</p>		<p>状態変化の際には必ず職員全員で会議を行い、その際に方針の共有ができるように話し合います。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること、できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>医療機関へいつでも相談が出来る体制をとっています。もしもその場合の受け入れ態勢も整えています。</p>		<p>今後在宅療養支援診療所や訪問看護とも連携し安心して医療を受けられるような日常を提供させていただきたいと思えます。</p>
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>周囲の関係者の方全てと話し合いを十分にしリロケーションダメージを少しでも少なくしてからの移り住みとなるようしています。</p>		<p>御家族だけでなく、御友人、ケアマネや他サービス事業者等と話し合いを十分に行ってから退所となったケースがあります。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>プライバシーに気をつけ個人情報の保護に基づいた記録と対応をしています。</p>	<p>記録物の定期的な確認。声掛け、対応については会議に際に都度全員で確認。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>声掛けの際には個々の状態にあわせた声の掛け方に気をつけ、出来るだけ御本人に決定をしていただけるようにしています。</p>	<p>力量に合わせた自己決定をサポートしています。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>レクリエーションや午後のゆったりした時間の使い方は出来る限り、入居者の皆さんに決めて頂けるような声の掛け方をしています。</p>	<p>買い物、料理、手芸、歌唱、ドリル、折り紙等での作品作りが現在の皆さんのお好きな時間の過ごし方ですが他にどんな事がしたいか、どんな事が好きか、新しい事にどれだけ挑戦して下さるか入居者、御家族、スタッフ、皆で考えて楽しみたいと思っています。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>移動美容院を利用される方や、馴染みの理容師にホームへ来てもらったり皆さん様々です。</p>	<p>自己決定が出来る方には着替えの際に必ず御自分で選んでいただきます。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>お料理上手な方と冷蔵庫の中を見ながらほぼ毎日おかずやつけあわせ、おやつ等を作っています。後片付けも、それぞれの力量にあわせて協力をしていただいています。</p>	<p>季節行事のお料理等を楽しみたいと思っています。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>タバコがお好きな方、おかし、甘いものがお好きな方がいらっやいます。意に沿うように努めています。</p>	<p>朝ごはんの主食を何にするか、お茶の時間に何を飲むか、おやつは何にするか、お好きな物をいつでも楽しんでいただけるように心掛けています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	尿意が無くても全員、トイレへ行って頂くようにしています。トイレでの排泄を心がけています。		全員トイレ排泄を行っています。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	失禁等で汚れてしまったときは、時間に関係なくお風呂できれいになっていただいています。通常の入浴も皆さんに声を掛けます。		入浴は出来る限り意に沿うように支援させて頂いています。夕食後に遅番対応で入浴される事もあります。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜遅くまで楽しみなテレビ番組を見ている方もいます。昼食後に昼寝をするのが楽しみな方もいます。		個々に休息時間が違います。また、その日の体調によっても違います。状態に応じ、看護師、職員と話し合い状況にあった生活を提供しています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者全員の、それぞれの趣味、好きな食べ物、今迄の生活歴等をスタッフ全員が把握しています。		料理、裁縫はスタッフより経験豊かで上手です。日頃から助けていただいています。これからも、助けていただきたいと思っています。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	時折、現金を持参していただきショッピングセンターへ出掛けたりします。支払が可能な方には御自分でお支払をしていただきます。		買い物を出来る方ではないが、居室に長年愛用していたお財布に現金を入れている方もいます。外出の際の買い物等これからも支援していきたいと思います。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や、散歩、ゆっくりと日向ぼっこという日もあります。御家族に協力をしていただくこともあります。自宅の確認や、自宅へお茶を飲み数時間の帰宅をされる人もいます。		今以上にもっとたくさんの外出を楽しんでいただきたいと思っています。個別の外出をもっと支援していきたいと思えます。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	遠方のお墓参りや、行きつけの美容院、お孫さんの七五三、展覧会 等にお出掛けをされた方がいます。		御家族、御本人から要望があれば出発・帰所時間等 関係なく支援させて頂いています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御自身のお誕生日に息子さんや、声が聞きたくなつたと娘さんに電話をされる方がいます。		御家族から往復はがきが届き、文通をされる方もいます。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会は皆さん多いと思います。気兼ねなく来て頂けるようになっています。		お誕生会や行事予定などを事前にお知らせし、自由に参加をしていただいています。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修や、勉強会などにも参加し、身体拘束を行わないケアに取り組んでおります。		これからも取り組んでいきます。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵は基本的にかけない事としています。		これからも取り組んでいきます。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	定期的な見回りや状態観察などを実地しています。		記録物も利用者のそばでコミュニケーションをとりながら行います。利用者の様子を常に伺えるようにしています。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	それぞれの力量に合わせ危険が無いように配慮しながら支援させていただいています。		トイレの紙がなくなると御自分で倉庫より出してきてくださる方がいます。倉庫内の他の物品を眼のつかないところに片付け、この行為をこの方の仕事としてサポートしています。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	車椅子離床した際転倒防止ブザーなどを使っています。		利用者の内服薬表を作成し、内服時の確認、喫煙時の火の徹底管理。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	スタッフ全員が定期的にこれらの研修を受けるようにしています。又、消防訓練なども実地しています。		入所者個々の特徴により、起こりうるケースを想定し、対応方法を訓練しました。これからも定期的に行いたいと思います。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時には消防機関のほかに自治会にも協力を得られるようにしています。		運営推進会議の時などに日頃から災害時の協力を要請している。また、消防訓練も定期的に行っている。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	日頃から御家族と気軽に話し合う機会を持つように心掛け、日常の中について来るリスクについて都度説明をし、改善策も御家族と共に話し合うようにしています。		御家族と何回も話し合いをし、納得の上で車椅子のベルトを外させていただきました。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員間の申し送り、必要であれば看護師 医療機関に連絡し、指示を仰ぎます。		通常の1日2回のバイタルチェックの他に、個人の状態に合わせ1日の測定回数が3回の方もいます。又体調急変時は都度状態に合わせ細かくチェックします。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を作成。服薬介助の際は全員がチェックを行います。スタッフ全員が薬の目的、用法、等を理解できるように変更があった際には必ず申し送ります。また、状態に変化が起きた際には必ず記録をします。		個人ファイルの中に全員、薬状がファイリングしてあり職員がいつでも確認できるようになっています。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分量、食事 等に気をつけ日常動作の中で動いて頂けるように声を掛けています。スタッフ全員が便秘の原因、影響を理解し、工夫をしながら予防を心掛けています。		個別に階段リハビリや、歩行リハビリを行う方もいます。便秘時に薬だけに頼らないよう努力をしています。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、全員口腔ケアをしていただいています。介助の必要な方にはそれぞれに合わせて介助をさせていただいています。		毎食後の口腔ケアに加え夜間は必ず義歯洗浄剤に漬けるようにしています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	好みの飲み物を提供させていただいたり、バランスよく食べて頂けるように声掛け、一口ずつ切り分けたり、おかゆの方等、状態に合わせ支援させていただいています。		利用者全員の食事摂取量の確認、透析患者の方の水分管理、利尿剤服用の方の水分摂取量の確認等、個々の状態に応じた食事・水分確保を支援しています。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	各種感染症マニュアルが作成しており、うがいや手洗いなど徹底し、感染症の予防を行っております。		感染症についての外部研修に参加。研修内容を職員全員で確認をしています。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生面に気をつけながら食材の使用と管理をしています。		手洗いを必ずおこない、食器・調理器具は食器乾燥機を使用しています。
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節の飾り等で親しみやすい工夫をしています。		季節の飾りに、昔からの季節行事などにまつわる飾りなども取り入れていきたいと思います。夏の間は鈴虫を玄関先で飼っていました。利用者はもちろんですが、御家族にも好評でした。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感を大事にしながら、季節感を大事に楽しめるように、なおかつこれらが不快の原因にならないように工夫しています。		昔ながらの季節行事を可能な限り取り入れ楽しんでいただくようしています。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファの他に廊下やエレベーターホールにもソファを配置し、空間の提供をさせていただいています。		独りになった際、プライバシーを配慮しながらの見守りを行いこれからも思い思いに過ごしていただけるように支援していきます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド、カーテン、空調機の他は今迄お使いの物を自由に持ち込んでいただいています。		大切な方との写真を飾ったり、好きな芸能人のカレンダーを飾ったりされている方もいます。季節ならではの手作り装飾品を提供させていただきたいと思います。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は24時間行い、空気が常に流れるように。また、湿度、室温においては壁に室温計を置きこまめに確認。		朝の掃除の時間に必ず換気行い、こまめに室温チェック。冬は加湿器を置き、室温も確認しています。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー対策完備。施設内は自由に移動をしていただいています。		1階の厨房まで食事を取りに行ってもらったり、事務所まで郵便物を取りに行ってもらったりしています。階段を使う方、エレベーターの方とそれぞれ違いますが安全に配慮しながら自由に移動していただいています。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	日付や時間、季節等の他に各自の居室へ表札をつけたり、トイレの目印を分かりやすくしています。		各居室に毎月皆さんの手作りカレンダーを飾ります。食事の際に混乱を防ぐために無地の食器を使う方もいます。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外の玄関前にはベンチを置き、いつでも外気を楽しめるように。外でみかんを食べたりして楽しんでいます。春には裏の林でたけのこ、夏にはびわを採ってきたりし、季節の味を楽しんでいただきました。		夏に花火を玄関前でしました。これからも安全に十分配慮し、利用者が楽しく活動出来る空間を提供していきます。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日々の生活の中で毎日小さな幸せを一つでも見つけてくださったらと思いながら支援させて頂いています。穏やかに毎日が過ぎていく中で心地よい刺激があれば尚嬉しいとスタッフ全員が考えながら支援させて頂いています。意思の疎通や会話が難しい方もいつも笑顔で私たちを受け入れてくださいます。馴染みの関係を大切にしながら、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように今後とも支援していきたいと思ひます。